

令和6年第8回教育委員会定例会 議事録

1. 教育長あいさつ

本日は、広島に原爆が投下されて79回目の8月6日。原爆犠牲者の皆様、そしてそのご家族の皆様にご心から哀悼の意を捧げます。そして、今なお後遺症で苦しんでおられる被爆者やご遺族の方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、夏季休業も半分の手前になってまいりましたが、現在のところ児童生徒の事故や事件についての報告はきておりません。現在、パリオリンピックが開催中で、委員の皆さんの中にも寝不足の方もいらっしゃるのではと思います。児童生徒たちには、暑い中ですが、ラジオ体操やプール、海など戸外でも夏を満喫してくれていることを願っております。教職員につきましても、校内研修や講演会などもあり、学期中とは異なり、少しゆったりと充電できる時期で、長期休業中にしかできないことにチャレンジしてもらいたいと思います。

7月9日（火）には教育委員の皆様には一日中学校訪問をしていただきました。大変ありがとうございました。普段の中学校現場の実際を見ていただいたことにより、学級弁論大会や、3年生の習熟度テストであったり、参観には相応しいとは言えないこともございましたが、学校、学級によっては、生徒たちがイキイキと授業に参加し、意見を述べる姿もありました。また、タブレットを用いて意見を入力し、クラスメイトの意見も参考にして修正をするような授業もあり、多岐にわたる授業風景でした。授業のあり方も教員次第だな、とつくづく感じました。暑い中、学校訪問いただき、ありがとうございました。

8月2日（金）江津市人権・同和教育講演会が江津市総合市民センター大ホールで開催されました。「海外にルーツをもつ子どもたちに学びとつながりを」という演題で、「日本社会に潜む3つの壁とは」を副題にお話しされました。外国人の子供には我が国の義務教育への就学義務はありませんが、こどもの権利条約により日本人児童生徒と同様に無償で受け入れ、日本人と同一の教育を受ける権利を保障しなければなりません。言葉、文化、宗教、制度の壁の前に子ども一人一人の心と向き合うことが大切であり、「誰ひとり取り残さない」ことをめざそうと話されました。それでは、本日の定例会も慎重なる審議、また忌憚のない意見交換や質問をよろしく願いいたします。

2. 教育長の報告（別紙 教育長勤務報告のとおり）

3. 議事録署名議員

○教育長

本日の署名委員は、佐々木委員と福田委員にお願いいたします。

4. 議決事項

・議案第22号 令和7年度使用中学校教科用図書採択について

○大石課長より説明

昨年は小学校の教科用図書（教科書）の採択があったが、今年は中学校の教科書の採択となる。浜田教育事務所管内の採択事務については、3市3町で「浜田地区教科用図書採択協議会」を組織して決定。今回協議会から推薦された教科書は、あらかじめ送付した資料のとおりで、全16種目のうち6種目に変更となっている。

○教育長より詳細説明

○教育委員が実際に新しい教科書を手に取り閲覧

<委員からの質疑等>

○福田委員

優秀な先生方が集まって、吟味され、作業自体に時間を割かれたのだと思うので、特に異論はない。後は選ばれた教科書で、先生がいかにそれを使いこなして上手に授業されるかというところに期待したいと思う。

○岡田委員

教科書の中には、QRコードがついているものもあり、子どもたちは使い慣れたツールだと思うのでより積極的に活用して欲しい。

〈全委員一致で承認〉

5. 報告事項

① 江津市立小学校及び中学校教職員のハラスメント防止等に関する要綱の一部を改正する告示について

○大石課長より説明 委員からの意見・質疑なし

②江津市中学校文化連盟補助金交付要綱の制定について

○大石課長より説明

中学校の文化部の活動を支援するため新たに補助金交付要綱を制定するもの。

特に吹奏楽部などは楽器の運搬経費（トラック）などを保護者負担等で何とかやりくりしていたようだが、この度校長会から文化部への補助の要望があった。

〈委員からの質疑等〉

○岡田委員

吹奏楽部の楽器等の運搬については民間から借り上げをしているのか？

○教育長

保護者が車を借りて運転していく場合もあれば、運転も車をトラックもすべて業者へ雇い入れているというケースもあるようだ。

○福田委員

楽器は買えばすごく高いし、修繕費もかかるので、現実的かは分からないが、今後はリースにするというのも考え方の一つではないか。

③部活動実施における熱中症対策ガイドライン（令和6年7月）について

○大石課長より説明

これまで部活動を含む教育活動全般における熱中症対策については、昨年通知を出して注意喚起していたが、中学校からの要望により、部活動に特化したガイドラインを策定し、夏季休業から適用。熱中症から子どもたちを守るため、各中学校長と協議して策定。

〈委員からの質疑等〉

○岡田委員

実際このガイドラインに沿ってやられてみて部活動が中止に至ったという学校はあるのか？

○大石課長

各中学校に聞いてみたところ、実際中止している学校もある。また、工夫をされて、朝早い時間に始めたり、活動場所を室内に変えたり体育館にミストを設置して部活動を実施している学校もある。

○教育長

学校によっては、部活動を早めに始め、終わった後は、冷房の効いた図書室で勉強をさせて帰らせている学校もあると聞いている。

○福田委員

体育館の中も暑いので、やはり今後は体育館にもエアコンが必要になってくると思われる。

④令和6年度9月補正予算について

○大石課長より説明

歳入については、夢咲くまちチャリティゴルフ実行委員会からの寄付金を教育振興基金に積み立てるもの。歳出については、その積立金と、小学校管理費で業務委託料4,400千円を計上。今年4月～5月にかけて、市内小中学校の遊具（及び教具）の安全点検を実施し、その点

検結果を受けて、危険な遊具は撤去し、修繕して使えるものは修繕する。

<委員からの質疑等>

○福田委員

学校によってはブランコが使いなくなっているところがある。ブランコは、子どもたちにとって遊ぶ遊具ではあるが、譲り合いの気持ちや近くに寄ったら危ないなど色々なことを学ぶことができる。そういう視点で考えると予算の関係もあると思うが、やはり早めに乗れる状態にしてほしい。

○大石課長

鉄棒などの教具は優先的に修繕対象となるが、遊具はどうしても修繕が後回しになってしまう。

○佐々木委員

子どもは遊ぶことによって色々な学びを得るので、教具と遊具を分ける必要はないと思う。体力的なものも含めて色々な学びがあるので、やはり考え方としては、せめて学校にあるものは一つに考えたほうが良いような気がする。当然お金はかかるが、できればそういった視点で考えてほしい。

○教育長

安全への配慮や順番を守るとか譲り合う気持ちは確かに大切。教具でしか学べないわけではないという認識は大切にすべきだと思う。

⑤相談箱の投函に係る対応等について

○大石課長より説明 委員からの意見・質疑なし

【追加】

「たつじんテスト」について

○泉指導主事より説明

たつじんテストは、正式には、「学びの基盤に関する調査」といい、島根県ではこの調査を活用して、児童生徒一人ひとりの実態を把握し、それに応じた支援を行うことを目的として今年度新たに実施。希望制で、江津市内では5校の小学校、1校の中学校が希望。たつじんテストは教科学力の基盤となると考えられる言葉や数に関する一般の学力調査では見取れない学習のつまづきを客観的に分析することができ、島根県はこの調査をICT版で実施する方針。各学校での採点等必要がなく、先生方の負担も少ない。

○教育委員も実際に操作して調査を体験

午後3時43分終了